

銀行業界 ～収益・財務強化策とフィンテック対応が競争力を左右～

◆市場動向 ～資金需要は好調も、政策・競争激化で小幅増益が続く～

18 年 9 月末の業界規模（前年値修正済み）：

総資産：257 兆元（前年同期末比 7%増）、貸出残高：139 兆元（同 13%増）、預金残高：181 兆元（同 8%増）、商業銀行の純利益（17 年通年）：1.7 兆元（前年比 6%増）

中国のマネーサプライは世界最大の規模。この金融市場の中核をなす銀行の規模も世界有数だ。景気回復を支えに資金需要は強く、17 年通期、18 年 1-9 月も銀行融資は引き続き 1 割以上の伸びになった。引き締め気味の金融政策を受けて長期金利は緩やかに上昇し、激しい競争が続く融資業務の収益率は幾分改善した。だが、政府のデレバレッジ（負債圧縮）政策を背景に不良債権処理が重しに。規制強化が金融商品販売を含む手数料ビジネスに影響し、業界全体では 17 年、18 年上期で小幅増益にとどまった。中国当局は今後もデレバレッジ・リスク防止・監督強化を柱とする政策方針を維持する見通し。だが、米中通商摩擦を背景に、景気浮揚目的で 18 年 1、4、7、10 月に預金準備率引き下げに踏み切るなど、政策の微調整もみられる。中長期的に米欧の“出口戦略”新興国の資本流出・通貨安圧力、国内景気減速などのリスク要因は続くとみられ、各銀行はさらなる資本増強・収益力向上に迫られよう。

◆業界の特徴 ～経済活動の「心臓」を担う最重要セクター、政策動向が重要～

主力事業面：

銀行は経済活動の“心臓”といえる最重要セクターで、国内全体の資金調達の約 7 割を担う。メインプレイヤーは大型国有銀行となる。中国の高い貯蓄率が預金基盤を支えるが、中小銀行はインターバンク市場からの調達も重要で、短期金利の動向が調達コストを左右する。運用面では同じ国有企業向けの貸出比率が高い。農業・中小零細企業向けが成長分野。リスク管理に課題が残り、地方政府向けなどで焦げ付きリスクも。個人向け融資は住宅ローンが主力。銀行の利ザヤは金利自由化や競争激化で低下圧力に晒されている。レポ取引を含む債券市場での運用益も重要な柱であり、企業活動や資金需要が収益に影響する。この中で各行は資産管理、ネットバンキング、金融商品販売の強化などを通じ、手数料ビジネスの拡大を目指す。その一環で「理財商品」（資産運用商品）が広く販売されてきたが、この取引の調達・運用の多くは B/S 上に反映されず、銀行の仲介機能の枠外にあり、“シャドーバンキング”と呼ばれている。

国際面：

外資の低い国内シェアの一因だった出資規制は 18 年に撤廃された。中国の地場系大手は有力外資を戦略投資家に引き入れ、競争力を強化。人民元国際化を追い風に、M&A などを通じ海外業務拡大に努める。

政策面：

規制は基本的に厳しいが、ここ数年で市場化が進み、基準金利や預貸比率の規制は撤廃された。政策の主眼は金融システム安定・デレバレッジとされ、中国人民銀行（中央銀行）は政策金利の調整（利上げ・利下げ）、預金準備率や自己資本比率の調整、公開市場操作、貸出ファシリティなどを駆使。さらに司令塔として金融安定発展委員会を新設し、銀行・保険の各監督管理委員会を統合した。

◆主要企業、主な取扱銘柄 ～国有大手の寡占、小幅増益が続く～

中国の銀行業界は国有セクターによる寡占が続く。主要 12 行の総資産は全体の約 6 割を占め、集約度も比較的高い。景気回復による資金需要増加、金利の緩やかな上昇、事業の多角化・国際化などを背景に、17 年、18.6 期（中間）で総じて増益を確保した。引き続き業績の伸びは小幅にとどまり、貸出・預金競争の激化、不良債権処理、総合力などが影響して大手間でも差が開いた。

四大国有銀行が業界をリードし、最大手の中国工商銀行（01398）に加え、インフラ分野に強い中国建設銀行（00939）、農村金融を担う中国農業銀行（01288）、国際業務で先頭を走る中国銀行（03988）がある。これに中国郵政儲蓄銀行（01658）、交通銀行（03328）を加えた大型国有6行は全資産の約4割強を占め、業績は小幅増益が続いた。株式制商業銀行が二番手グループに位置し、うち招商銀行（03968）、中信銀行（00998）、中国光大銀行（06818）の3行はそれぞれ中央政府系複合企業の傘下にある。地方政府系の有力銀行も存在し、福建の興業銀行（601166）、上海の浦東発展銀行（600000）、北京の華夏銀行（600015）を筆頭に、北京銀行（601169）、などがある。少数だが民間資本が多数を占める大手行も存在し、中国民生銀行（01988）や平安保険（02318）傘下の平安銀行（000001）などが代表格。全国展開はこうした大手行に限られる。地銀大手の上場が進み、重慶農村商業銀行（03618）、重慶銀行（01963）、徽商銀行（03698）、浙商銀行（02016）、天津銀行（01578）、錦州銀行（00416）、盛京銀行（02066）、江蘇銀行（600919）、上海銀行（601229）などが国内外に上場している。

香港の銀行業界は自由金利を採用し、近年は人民元業務を拡大中。中でも香港ドル発行の資格を持つHSBC（00005）、中銀香港（02388）、スタンダードチャータード（02888）の3行が有名だ。このうち、中銀香港だけが中国銀行傘下の中国資本で、残りはロンドン本拠の外資。このほか、東亜銀行（00023）などの香港地場系が一定のシェアを持つ。香港大手銀は中銀香港を除き、17年は業績改善が目立った。

主な取扱銘柄：

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
00005	HSBC	ハンセン	米ドル	63,776 +6.6	9,683 +645.4	1,314,246	世界屈指の総合金融グループ。ロンドンに本部を置き、事業エリアは香港・中国を含む世界中に及び。設立母体である傘下の香港上海匯豐銀行は香港ドルを発券し、地場銀大手の恒生銀行（00011）を傘下に置く。欧米の金利上昇による収益環境改善に期待。本拠を置く英国のEU脱退が懸念材料。
00023	東亜銀行	香港その他	香港ドル	15,953 +8.4	9,347 +151.1	75,264	香港最大級の地場銀行。東南アジア、米国、英国などにも拠点を設け、個人・法人向け業務、資産運用、保険などを展開。中国事業に積極的で、外銀で最初に香港・本土の両方で人民元建債券を発行した実績を持つ。香港に隣接する深セン市の前海地区に進出し、外銀初の支店が近く設立する見通し。
00939	中国建設銀行	ハンセン	元	594,031 +6.1	242,264 +4.7	1,645,570	国内第2位の商業銀行。住宅ローン・インフラ建設向け融資などに強く、住宅市況や公共投資の影響を比較的受けやすい。賃貸分野への参入など、不動産関連の競争力強化に取り組む。不良債権処理と優先株・資本性証券の発行による資本強化を進め、自己資本比率は競合他社を上回る。
00998	中信銀行	H株	元	157,231 +2.0	42,566 +2.3	299,531	国有系複合企業「中国中信」（00267）傘下の株式制商業銀行。近年はネット金融・フィンテックを強化し、EC最大手のアリババやSNS最大手のテンセント（00700）と提携。検索最大手の百度とネット銀行「百信銀行」を共同設立した。さらに銀行業で初めて顔認証支払いサービスを開始。
01288	中国農業銀行	H株	元	542,898 +6.4	192,962 +4.9	1,476,416	総資産などで国内3位。農業関連の金融事業で高い競争力を持ち、農村部の広大な拠点網が強み。鄉村振興戦略のテーマ株でもある。不良債権処理の専門子会社を設立し、フィンテック強化に向けネット検索最大手の百度と全面提携する。都市部での競争力や手数料収益比率の低さが課題といえる。
01398	中国工商銀行	ハンセン	元	675,654 +5.3	286,049 +2.8	2,158,373	中国最大の国有商業銀行。金融機関で世界最大級の時価総額を誇る。国内に広大な支店網・顧客基盤を持ち、幅広く金融サービスを提供。オンラインバンキングの業務規模も首位に立つ。国内の手数料ビジネスと海外業務の拡大が続く。広大な顧客網を活用し、低所得者向け分野の競争力も強い。
01658	中国郵政儲蓄銀行	H株	元	224,864 +18.6	47,683 +19.8	402,722	中国の郵便貯金事業から誕生した国有系の商業銀行。規制緩和で07年から貸出業務が可能になった。リテール業務を手がけ、営業拠点数と個人顧客数は国内最多を誇る。主に個人向けや中小企業への小口融資や証券投資を展開。16年のH株上場で巨額の調達資金に成功し、現在はA株上場計画が進行中。
01988	中国民生銀行	H株	元	86,552 ▲8.6	49,813 +4.1	299,087	大手商業銀行で数少ない民営企業。北京市に本店を置き、法人向け業務が主力。中小企業向け融資やマイクロローンを強みとするが、景気低迷の影響も受けやすく、バランスシートの質・安定性に課題。純金利収益率の改善や預金獲得による預貸率低下など、取り組むべき課題は多い。
02016	浙商銀行	H株	元	34,264 +1.8	10,950 +7.8	81,614	浙江省に本拠を置く株式制商業銀行。所得水準が高い浙江省で強固な営業基盤を持ち、同省の多くの企業が出資。上海市・江蘇省を含む華東地区を主力とする点が強み。自己資本の強化を課題とし、遅延気味のA株上場計画の早期実現を目指す。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
02388	中銀香港	ハンセン	香港 ドル	66,490 +23.2	31,070 ▲44.4	315,069	中国銀行（03988）傘下の香港の大手金融グループ。主力子会社は中国資本唯一の香港ドル発券銀行。オフショア人民元市場の香港で、強固な営業基盤を持つ。親会社からの東南アジア事業の買収や、香港地銀子会社の売却を含む一連の再編が完了。今後はASEAN地域でのシェア拡大が進もう。
03328	交通銀行	ハンセン	元	127,366 ▲5.6	70,223 +4.5	469,854	上海市に本拠を置く大型国有銀行。筆頭株主は財政部。HSBC（00005）も出資し、提携関係にある。金融センターの上海市を中心に華東地域での競争力は高い。傘下の交銀国際（03329）は証券・投資業を担当。保険事業は三井住友海上火災と合併展開する。純利息収益率の改善が課題。
03618	重慶農村 商業銀行	H株	元	23,970 +10.7	8,936 +12.5	45,000	重慶市政府系の地方銀行。主に重慶市の県・自治県などで銀行業務を手がけ、店舗網は同市内で最大級の規模。農業関連の金融サービスや中小企業向け融資に強みを持つ。内陸部唯一の直轄市である重慶は政策的恩恵が期待できる。また、A株IPO計画の動向も注目される。
03968	招商銀行	H株	元	220,039 +4.8	70,150 +13.0	842,026	国务院系複合企業の招商局集団に属する株式制商業銀行。広東省を本拠に全国展開し、リテール事業に強く、富裕層向けを含む手数料ビジネスの収益性は高い。フィンテック分野を重視し、専用スマホアプリを通じた各種リテールサービスの拡大を進める。
03988	中国銀行	ハンセン	元	483,761 ▲0.4	172,407 +4.8	1,159,481	四大国有銀行の一角を占め、長年にわたり国際・外為業務で業界をリード。香港では中銀香港（02388）を通じて香港ドルを発券するほか、人民元業務を積極的に展開。金融・人民元国際化の代表的銘柄といえる。また、傘下に置く中銀航空租賃（02588）は航空機リースのアジア大手。
06818	中国光大 銀行	H株	元	92,018 ▲2.5	31,545 +4.0	222,775	国务院系複合企業の中国光大集団のに属する株式制商業銀行。クレジットカードなどの手数料ビジネスが強く、収益比率は同業大手で最高水準に達する。資産運用サービスも重視し、将来的に資産運用業のスピンオフ上場の可能性も。テンセント（00700）と共同でフィンテック技術開発に取り組む。
000001	平安銀行	深セン A株	元	105,786 ▲1.8	23,189 +2.6	204,173	民営の金融コングロマリット「平安保険」（02318）で、銀行事業を担当。広東省に本拠を置く。前身は深セン発展銀行。同省を中心に華南地方で高いシェアを持ち、フィンテックに積極的。リテール重視の戦略を進め、自動車ローンのシェアは上位に入る。一方で早期の資本増強が求められる。
600000	浦東発展 銀行	上海A 株	元	168,619 +4.9	54,258 +2.2	351,931	上海市政府系の地場銀大手。浦東新区に本拠を置き、銀行で最も早く上海A株に上場した。通信大手の中国移动（00941）が資本参加し、提携関係にある。法人向け業務に強く、非銀行系の上海国際信託有限公司を買収。一方で不良債権比率はやや高く、早期の債権処理・引当拡大が求められる。
600015	華夏銀行	上海A 株	元	66,384 +3.7	19,819 +0.7	111,147	北京市に本拠を置く株式制商業銀行。首鋼集団、損保最大手の中国人民財産保険（02328）、国家电网公司という大型国有3社が大株主に名を連ねる。課題の自己資本強化に向け、300億元近くの増資計画を発表。北京市政府系の投資会社を新たに主要株主に迎え、市政府との関係強化を進める。
600919	江蘇銀行	上海A 株	元	33,839 +7.6	11,875 +11.9	81,908	江蘇省に本拠を置く地場銀大手。同省の複数の有名企業が株主に名を連ねる。省内に幅広く支店網を設け、貸出金の多くを同省の企業向けが占める。マイクロファイナンスやクレジットカード、ネットバンキングなどの事業も展開。経済発展で先行する江蘇省で強固な営業基盤を誇る。
601166	興業銀行	上海A 株	元	139,975 ▲10.9	57,200 +6.2	367,911	福建省政府系の地場銀最大手。全国規模の銀行に成長し、信託、産運用、リースを含む金融コングロマリットを形成。興業証券（601377）を兄弟会社とする。ネット金融に強く、検索最大手の百度と提携。環境関連融資の実績も豊富。今後は商業・投資銀行のシナジー追求を進める。
601169	北京銀行	上海A 株	元	50,353 +6.1	18,733 +5.2	142,102	北京市の地場銀大手で、現在は全国規模の銀行に成長した。地元政府に加え、オランダのINGバンクが大株主。商業銀行業務を全般的に展開し、法人向けが主力。京津冀地区（北京、天津、河北省）一体的発展のテーマ株の一つ。資本増強で財務体質は強化されたが、理財商品投資の増加が懸念材料。
601229	上海銀行	上海A 株	元	33,125 ▲3.7	15,328 +7.1	145,213	上海市地場銀大手の一角を構成し、全国の主要都市でも事業を展開。同市を拠点に法人・リテール向け融資や資産管理などを幅広く手がけ、資産運用会社や消費者ローン会社を置く。16年のA株IPOの調達額は100億元を超え、同年A株で最大となった。上海市系の複数の企業が主要株主として出資。

※売上高・純利益などはすべてブルームバーグ提供数値であり、当社HPと異なる場合がある。すべて17.12期で、単位は百万。

※時価総額は18年11月7日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HKドル。換算レートは1元=1.1HKドル。

◆注目されるトピックス ～フィンテック・財務・収益強化策が重要に～

金融政策の動向には十分留意：

17年の全国金融工作会议で中国政府は今後5年の金融行政・政策の柱として、リスク抑制、改革深化、景気貢献を強調。経済のハードランディングを防ぐ前提で、企業・銀行・政府のデレバレッジを目指す構造改革が今後も続く見通し。米国の利上げ継続、欧州の緩和終了を見据え、中国人民銀行もやや引き締め寄りのスタンスを模索しよう。基本的に政策動向は業界への逆風になるとみられる。だが、米中通商摩擦と米利上げが想定以上に中国の景気悪化・資本流出に繋がれば、政策の微調整・方針転換が進む可能性も。金融政策は銀行経営に大きな影響を与えるだけに、その動向には十分留意する必要がある。

各銀行の財務・収益強化策に注目、不良債権処理に備える：

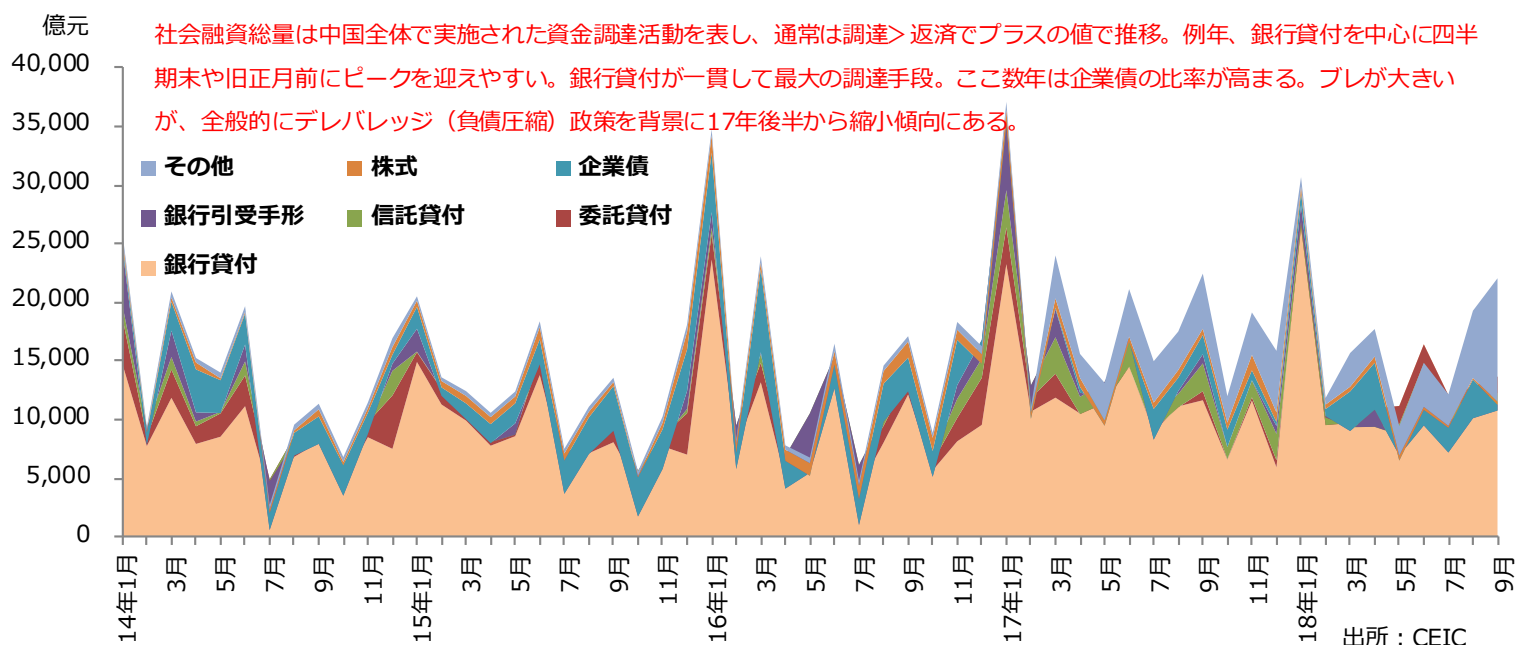
デレバレッジの進展は不良債権処理の加速を意味する。過去に行われた大規模な公的資金投入も今回は難しく、各銀行は損失処理の加速と、それに耐えられる財務・収益力の強化が求められよう。すでに多くの上場大手は専門子会社を設置。従来からの減損処理に加えて債務株式化、証券化などが活発化する見通しだ。さらに優先株発行、増資、地方銀行の株式公開、A・H重複上場を含むエクイティファイナンスも増えるとみられる。収益強化策では、国家戦略に採用されたインクルーシブファイナンス（膨大な貧困層を主な対象とする金融）、さらに中小企業向け融資や人民元国際化ビジネスなどが注目される。

フィンテック強化が重要な経営課題に：

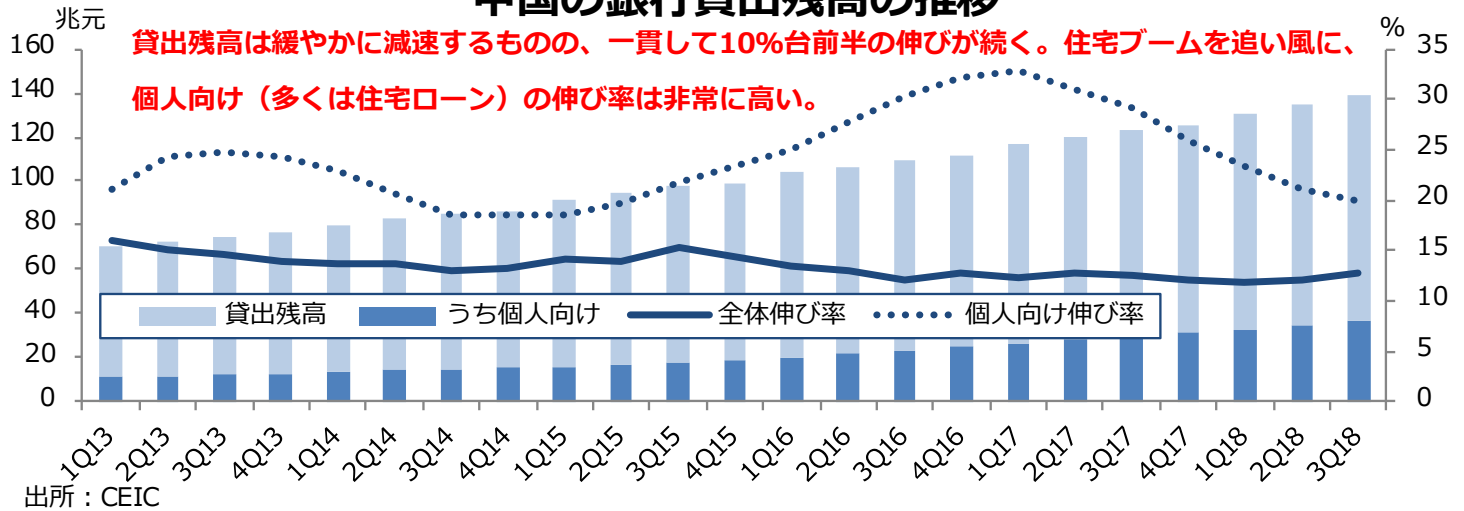
従来の銀行業界は規制に守られた“護送船団方式”だったが、ここ数年の改革で構造は大きく変化。フィンテック（金融とITの融合）社会の到来でスマホを通じた決済・預金・融資や仮想通貨が普及し、テンセント（00700）、アリババ（BABA）を含むIT大手は金融分野で大きな存在感を示すようになった。新興勢力の台頭を受け、各銀行はフィンテック強化を重要な経営課題に設定。すでに中国工商银行が京東（JD.com）、中国建設銀行がアリババ、中国銀行がテンセント、中国農業銀行が百度と戦略提携を構築するなど、各銀行は積極的に動いており、投資家の関心も集まろう。

（中国部・畦田）

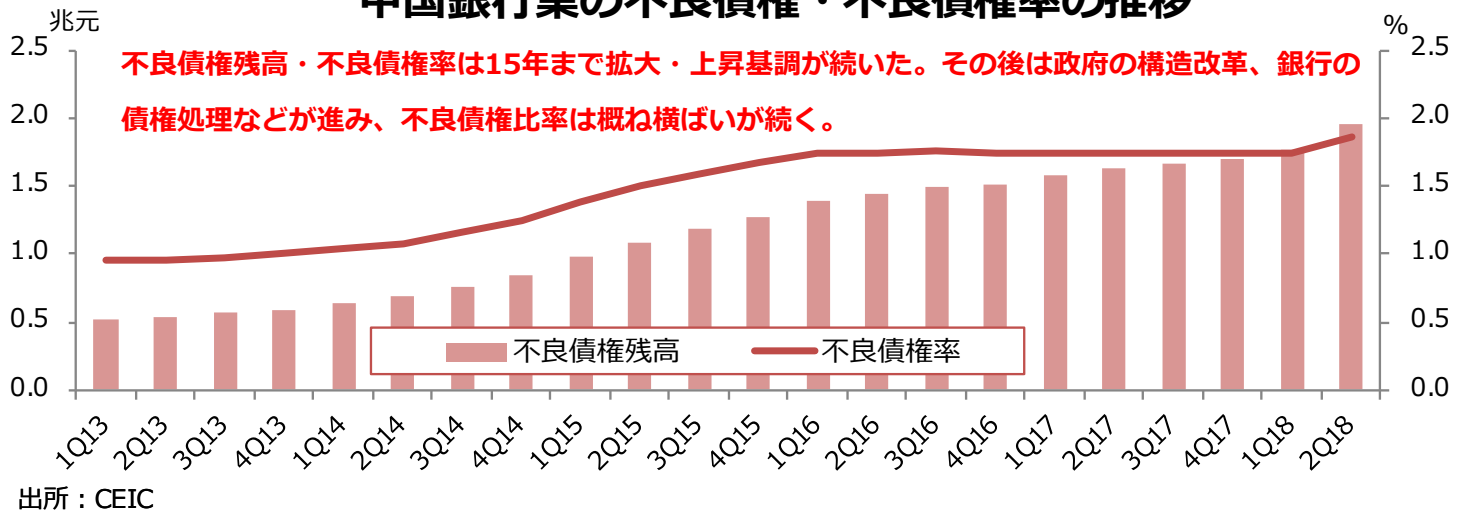
中国の社会融資総量の月間増減額（ネットベース）



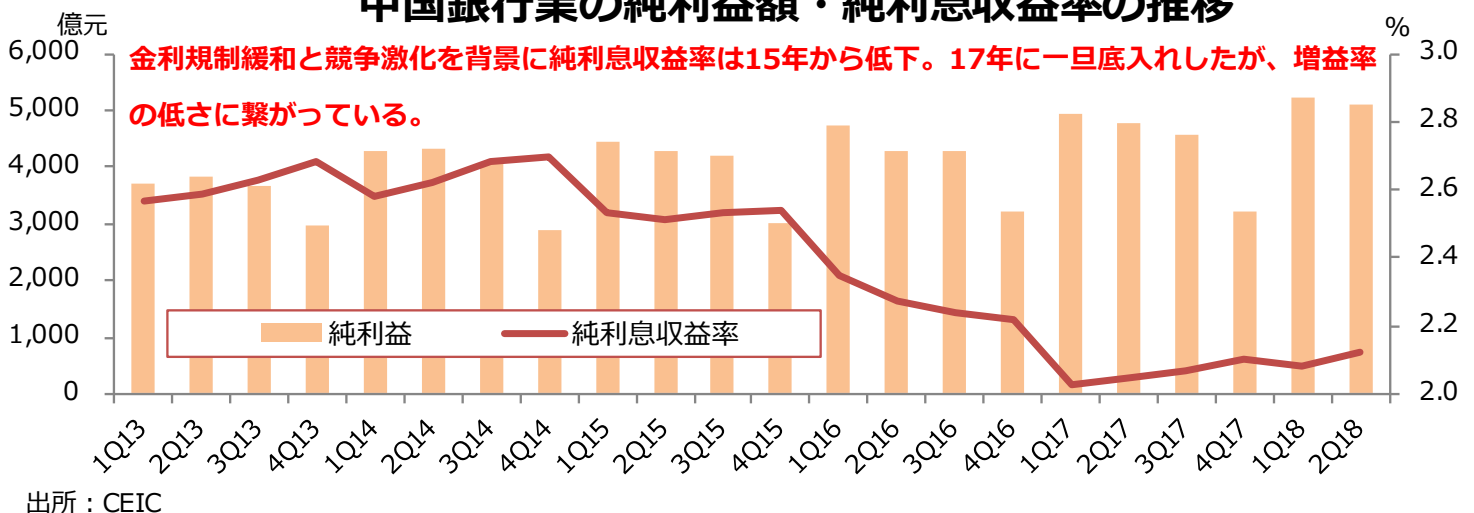
中国の銀行貸出残高の推移



中国銀行業の不良債権・不良債権率の推移



中国銀行業の純利益額・純利息収益率の推移



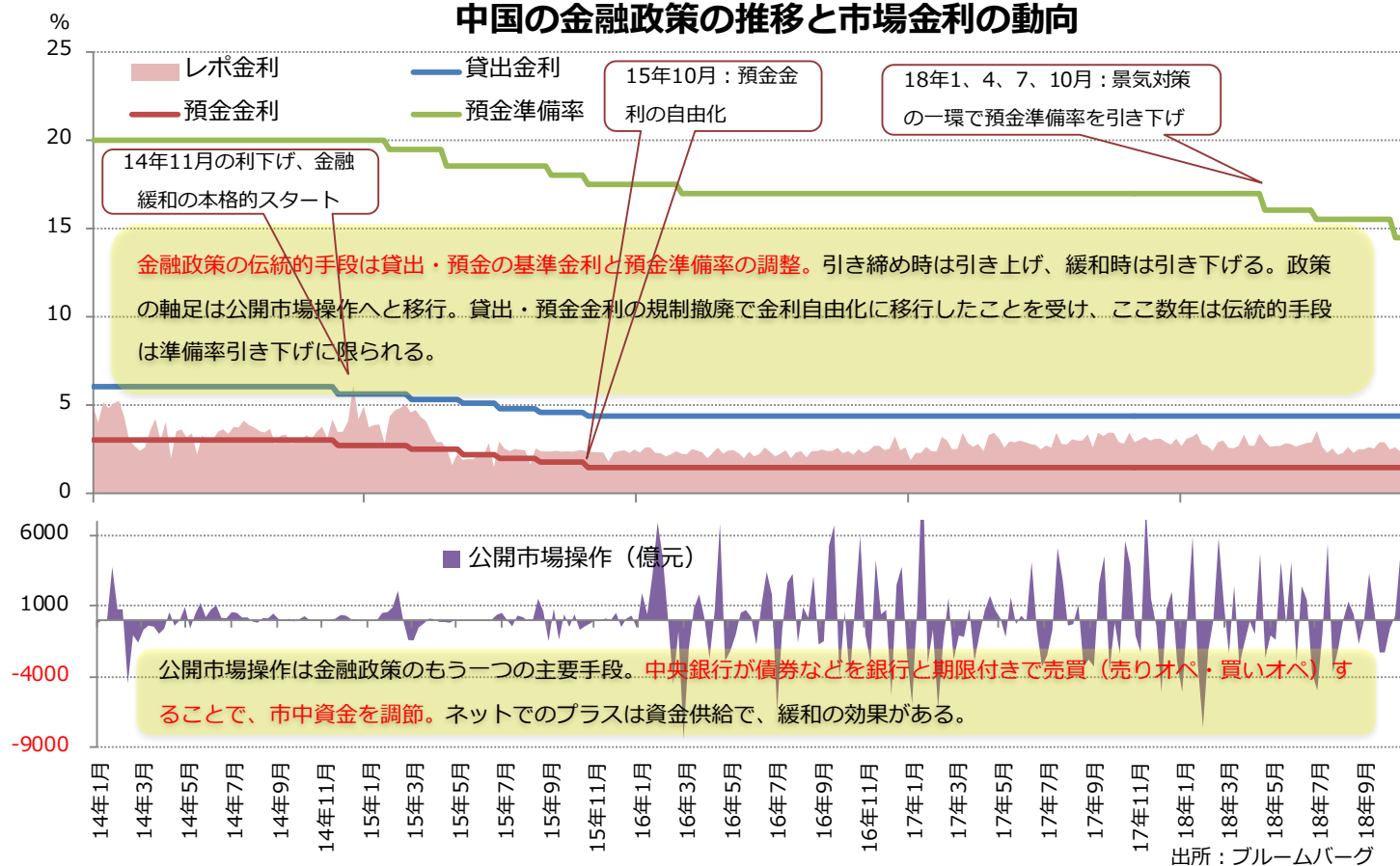
主要上場12行の経営指標一覧（18.6期（中間））

項目	中国工商银行 (01398)	中国建设银行 (00939)	中国農業銀行 (01288)	中国銀行 (03988)	中国郵政儲蓄銀行 (01658)	交通銀行 (03328)
分類	中央政府直轄の大型国有銀行。交通銀行、中国郵政儲蓄銀行を除く4行で四大国有銀行ともいう。					
特徴	中国最大の商業銀行。時価総額や自己資本などで世界有数。	中国第2位の商業銀行。インフラ・不動産向け融資に強い。	農業・農村向け融資に強み。IPOの調達額は世界最大級。	国際・外為業務に強みを持つ大手商業銀行	中国版“ゆうちょ銀行”、営業拠点数と個人顧客数は国内で最も多い。	上海市の大型国有銀行。長江デルタ地帯で高いシェアを持つ。
総資産 (億元)	273,031	228,052	219,209	202,949	93,262	93,227
貸出残高 (億元)	145,361	130,685	110,014	111,356	39,114	46,692
預金残高 (億元)	208,180	169,655	169,399	140,179	83,328	57,329
営業収益 (億元)	3,875	3,399	3,063	2,514	1,324	1,019
純利息収益 率 (%)	2.30	2.34	2.35	1.88	2.64	1.41
手数料収入 比率 (%)	20.46	20.30	14.25	19.16	5.80	20.79
不良債権比 率 (%)	1.54	1.48	1.62	1.43	0.97	1.49
自己資本 比率 (%)	14.73	15.64	14.77	13.78	12.90	13.86

項目	興業銀行 (601166)	招商銀行 (03968)	浦東発展銀行 (600000)	中国民生銀行 (01988)	中信銀行 (00998)	中国光大銀行 (06818)
分類	全国展開する株式制商業銀行と地銀大手					
特徴	福建省政府系の大手銀。金融多角化を進める。	深セン市に本拠を置く商業銀行。手数料ビジネスに強み。	上海市政府系の銀行。上海自由貿易区を本拠とする。	数少ない民営銀行。新規業務の開発・展開力は定評。	中堅の商業銀行。コーポレートバンキングが強い。	クレジットカード、資産運用の業務で高い競争力を持つ。
総資産 (億元)	65,632	65,373	60,918	60,611	58,074	42,833
貸出残高 (億元)	25,853	37,029	32,449	29,678	32,873	21,746
預金残高 (億元)	31,034	42,578	32,104	31,475	35,880	24,355
営業収益 (億元)	734	1,261	823	754	811	522
純利息収益 率 (%)	1.78	2.54	1.77	1.64	1.89	1.63
手数料収入 比率 (%)	27.41	29.70	24.14	32.26	26.97	35.18
不良債権比 率 (%)	1.59	1.43	2.06	1.72	1.80	1.51
自己資本 比率 (%)	11.86	15.08	12.22	11.86	11.34	12.68

出所：PWC、各社財務諸表等

中国の金融政策の推移と市場金利の動向



当社の概要

商号等 内藤証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号
 本店所在地 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号 主な事業 金融商品取引業
 資本金 30億248万円(平成30年3月末現在) 設立年月 昭和18年4月
 加入協会 日本証券業協会 (一社)第二種金融商品取引業協会
 指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
 連絡先 ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

リスク等重要事項のご説明

リスクについて

〈株式〉株価および為替相場(特に外国株式の場合)の変動等により損失が生じるおそれがあります。
 〈債券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。
 〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向(特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合)等により投資元本を割り込むおそれがあります。
 〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る(元本超過損)おそれがあります(オプション買方の場合には買付代金とコストの合計額に限定されます)。

手数料について

〈株式〉①対面取引の場合、i) 国内株式は約定代金に対して最大1.15%(税抜き以下同じ、但し最低2,500円)。ii) 現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50%、香港株式で同0.25%(最低50香港ドル)、上海・深セン株式で同0.50%必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii) 国内店頭(相対)取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社為替レートを用います。②コールセンター取引の場合、i) 国内株式は約定代金に応じて最大31,000円(最低2,500円)。ただ、月間取引回数等による割引あり。ii) 外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i) 国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP(<http://www.naito-sec.co.jp/>)にてご確認ください。ii) 現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40%(但し買付け時のみ最低500円)の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引では米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。
 〈債券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等(諸費用を含む)をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。
 〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 〈株価指数先物・同オプション〉i) 株価指数先物は約定代金に対して最大0.08%。ii) 株価指数オプションは約定代金の最大4.0%(但し最低2,500円)。

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があります。過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重大過失がない限り、責任を負いません。
 ◆本資料により提供される情報の著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の書面による同意なく、本資料の内容及び情報を、複製、譲渡、修正、変更または転送等の行為をすることができません。

本 社 大阪市中央区高麗橋1-5-9 ☎06-6229-6511

東 日 本 地 区

東京第一営業部	☎03-3666-5541	金 沢 文 庫 支 店	☎045-780-5021
湘南サテライト	☎0466-55-3161	足 利 支 店	☎0284-22-1234
東京第二営業部	☎03-3666-7137	伊 勢 崎 支 店	☎0270-25-3780
神 田 支 店	☎03-6361-9191	伊勢崎駅前サテライト	☎0270-25-3780
三 鷹 支 店	☎0422-71-1251	焼 津 支 店	☎054-621-1311

西 日 本 地 区

本店営業部	☎06-6229-6904	和 歌 山 支 店	☎073-423-6211
住 道 支 店	☎072-889-5236	有 田 支 店	☎0737-52-7110
寝 屋 川 支 店	☎072-822-6333	田 辺 支 店	☎0739-22-4678
金 剛 支 店	☎072-365-1901	新 宮 支 店	☎0735-22-8151
樫 原 支 店	☎0744-28-4711	高 松 支 店	☎087-822-0105

インターネット

☎0120-7110-76
 suce-s@naito-sec.co.jp

コールセンター

☎0120-20-9680

